

平成29年度 事業報告

社会福祉法人 札幌親会

平成29年度事業報告

社会福祉法人 札幌親会

平成29年度における社会福祉法人札幌親会の事業運営及び会務の運営について、次のとおり報告いたします。

平成29年度の事業は、理事会・評議員会で承認された事業計画に基づき、経営する施設・事業所において、利用者の権利擁護に努めながら多様なニーズに基づいた福祉サービスの提供を心がけ、各種の事業を計画どおり収めることができました。

4月1日に施行された「改正社会福祉法」により、全面改正された定款に基づき、新たに役員・評議員の選任を行ない、経営組織としての基盤を整えました。

一方、事業開始から30年以上が経過し、施設間の人事交流も停滞しがちだったことを踏まえ、法人組織体制の見直しに向けて事務局体制を再構築し、組織改革の一端として、大幅な人事異動による組織の活性化を図るための企画・調整を行ないました。

また、年々、障がい福祉の分野での就職希望者が減少傾向にあるなか、法人全体で「ゆとりのある働き方」を実現するためには多くの人材を確保する必要があるとの視点から、様々な求人媒体を通じての募集と事業所見学・説明会を複数回にわたり開催しながら、職員の確保に努めるとともに、労働環境の改善を図るため社会保険労務士の助言を受けて、就業規則の全面改正と職員の勤務体制等を見直す「法人版働き方改革」にも着手しました。

次年度も、日々の支援を大切にしながら、それぞれの地域における拠点施設・事業所としての機能を高め、利用者の皆さんの「自立」に向けての支援を行なってまいります。

【会務の運営】

(1) 理事会の開催状況

第1回理事会（通算第189回）

- ①日 時 平成29年6月1日（木）
- ②場 所 札幌第一ホテル 1F こぶし
- ③審議事項
 - 議案第1号 平成28年度事業報告に関する件
 - 議案第2号 平成28年度決算報告に関する件
 - 議案第3号 平成28年度決算監査報告に関する件
 - 議案第4号 役員及び評議員等の費用弁償等に関する規程の制定に関する件
 - 議案第5号 社会福祉充実計画の策定に関する件
 - 議案第6号 新役員候補者の選任に関する件
 - 議案第7号 理事長専決事項の報告に関する件

第2回理事会（通算第190回）

- ②場 所 札幌第一ホテル
③審議事項 議案第1号 理事長の選定に関する件

第3回理事会（通算第191回）

- ①日 時 平成29年8月28日（月）
②場 所 札幌第一ホテル 2F にしき
③審議事項 議案第1号 平成29年度社会福祉施設等施設整備費補助金の内示に関する件
議案第2号 菊水ワークセンター増築計画の実施に関する件
議案第3号 経理規程及び給与規程の一部改正に関する件

第4回理事会（通算第192回）

- ①日 時 平成29年10月27日（金）
②場 所 札幌第一ホテル 2F みゆき
③審議事項 議案第1号 入札結果の報告に関する件
議案第2号 育児・介護休業に関する規則の改正に関する件
議案第3号 菊水ワークセンター隣地の取得に関する件

第5回理事会（通算第193回）

- ①日 時 平成30年2月28日（水）
②場 所 札幌第一ホテル 2F かつら
③審議事項 議案第1号 平成29年度補正予算（案）に関する件
議案第2号 就業規則の全面改正に関する件

第6回理事会（通算第194回）

- ①日 時 平成30年3月30日（金）
②場 所 札幌第一ホテル 2F かつら
③審議事項 議案第1号 平成29年度補正予算（案）に関する件
議案第2号 平成30年度事業計画（案）に関する件
議案第3号 平成30年度予算（案）に関する件
議案第4号 パートタイマーの就業規則の改正に関する件
議案第5号 公益通報者保護規程の制定に関する件
議案第5号 運営規程の一部改正に関する件

（2）評議員会の開催状況

第1回評議員会（通算第97回）

- ①日 時 平成29年6月21日（水）
②場 所 札幌第一ホテル
③審議事項 議案第1号 平成28年度事業報告に関する件

- 議案第2号 平成28年度決算報告に関する件
- 議案第3号 平成28年度決算監査報告に関する件
- 議案第4号 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画に関する件
- 議案第5号 役員及び評議員等の費用弁償に関する規程の制定に関する件
- 議案第6号 新役員の選任に関する件

第2回評議員会（通算第98回）

- ①日 時 平成29年12月8日（金）
- ②場 所 ホテルポールスター札幌 3F 多目的ホールB
- ③審議事項
 - 議案第1号 平成29年度札幌市民間社会福祉施設等施設整備事業の実施に関する件
 - 議案第2号 菊水ワークセンター増築計画に関する件
 - 議案第3号 評議員選任・解任委員会運営規程の制定に関する件
 - 議案第4号 育児介護休業に関する規則の一部改正に関する件

第3回評議員会（通算第99回）

- ①日 時 平成30年2月28日（水）
- ②場 所 札幌第一ホテル 2F かつら
- ③審議事項
 - 議案第1号 平成29年度補正予算（案）に関する件
 - 議案第2号 就業規則の全面改正に関する件

第4回評議員会（通算第100回）

- ①日 時 平成30年3月30日（金）
- ②場 所 札幌第一ホテル 2F かつら
- ③審議事項
 - 議案第1号 平成29年度補正予算（案）に関する件
 - 議案第2号 平成30年度事業計画（案）に関する件
 - 議案第3号 平成30年度予算（案）に関する件
 - 議案第4号 パートタイマーの就業規則の改正に関する件
 - 議案第5号 公益通報者保護規程の制定に関する件
 - 議案第5号 運営規程の一部改正に関する件

（4）監事監査の実施

- 第1回目 平成29年 5月25日（平成28年度決算経理状況に関する監査）
- 第2回目 平成29年 9月11日（利用者預かり金の管理状況に関する監査）
- 第3回目 平成29年12月 1日（平成29年度上半期経理状況に関する監査）
- 第4回目 平成30年 3月12日（利用者預かり金の管理状況に関する監査）

(5) 末永公認会計士事務所による会計監査の実施

- 第1回目 平成29年 5月22日 (平成28年度財務諸表・財産目録)
第2回目 平成29年11月17日 (平成29年度上半期の財務諸表)

(6) 北海道及び札幌市の監査指導・実地指導

- 平成29年 8月 3日 札北荘(入所)・札北荘(通所)・法人～札幌市監査指導室
平成29年 8月 7日 札幌市社会自立センター業務財務検査～札幌市障がい福祉課
平成29年 9月28日 月形町花の里こども園～空知振興局保健環境部保健福祉室
平成29年12月12日 共同生活援助事業所(あじさい)～札幌市障がい福祉課
平成30年 1月19日 共同生活援助事業所(ひまわり)～札幌市障がい福祉課

(7) 事業の経営

<障がい者支援施設の経営>

- (1) 札北荘～施設入所支援/定員30名・生活介護/定員40名
(2) つきがた友朋の丘～施設入所支援/定員40名・生活介護/定員40名

<障がい福祉サービス事業の経営>

- (1) 札北荘・通所(生活介護)～定員60名
(2) 札北荘・通所(就労継続支援B型)～定員10名
(3) さつきたそう/ゆめくる(生活介護)～定員40名
(4) さつきたそう/ゆめきた(生活介護)～定員20名
(5) ワークサポートいぶ樹(生活介護)～定員10名
(6) ワークサポートいぶ樹(就労継続支援B型)～定員10名
(7) 札幌市社会自立センター(就労継続支援A型)～定員30名
(8) 菊水ワークセンター(生活介護)～定員40名
(9) 菊水ワークセンター/ライラック・スズラン(就労継続支援B型)～定員34名
(10) 菊水ワークセンター/スズラン(就労移行支援)～定員6名
(11) 白石かがやき園(生活介護)～定員55名
(12) 白石かがやき園/こもれび(就労継続支援B型)～定員15名

<短期入所事業の経営>

- (1) 札北荘～定員10名/日
(2) つきがた友朋の丘～定員4名/日
(3) 白石かがやき園～定員3名/日
(4) グループホーム「コスモス」～定員1名(空床型)

<共同生活援助の経営>

(1) あじさい(あじさい・ミモザ・アカシア・陽だまり・すすらん・ウィズ)
～定員56名

(2) のばら(のばら・たんぽぽ)～定員14名

(3) ひまわり(ひまわり・コスモス・あっぷる)～定員15名

(4) 大樹(大樹・ゆう樹・風樹・松籟荘)～定員22名

(5) ピース(ピース・さくら)～定員20名

(6) すまいる(すまいる)～定員10名

<居宅介護事業所の経営>

(1) ライフサポートあんりー(居宅介護・行動援護・重度訪問介護)

<相談支援事業の経営>

(1) 相談室あいりす(特定相談支援・一般相談支援)

<有償運送事業の実施>

(1) ライフサポートあんりー

(2) つきがた友朋の丘

<市町村事業事業の実施>

(1) 移動支援事業(ライフサポートあんりー・つきがた友朋の丘)

(2) 日中一時支援事業(札北荘・ゆめくる・菊水ワークセンター・白石かがやき園)

<保育所の経営>

(1) 月形町認定花の里こども園～定員80名

(2) 子育て支援センター(しろくまちゃん～2才以上、年間25回実施・利用数延
113組)

子育て支援センター(こぐまちゃん～0・1才、年間3回実施・利用数延5組)

(3) 一時的保育事業(半日利用～延14名・全日利用～延113名/うち町外73名)

(8) 補助金の受領

[国庫・札幌市補助金]

・札北荘 3,078,000円(総事業費 4,341,600円)

※玄関ドアを自動ドアに交換する改修工事

平成 29 年度 札北荘 事業報告

1. 総括

平成 29 年度札北荘入所通所全体で定員 110 名に対し、129 名でスタートしました。毎年多くの利用者が札北荘での活動を希望し、何とか対応してきましたが、定員の枠は飽和状態にきており新しく利用される希望があっても Yes といえない環境でした。支援者についても年度スタート時には昨年度と同じスタッフ数でしたが、急遽退職される支援者が多くなり、一時、日々の支援者配置さえ厳しくなる状況になる事もありました。法人には窮状を伝え異動等での支援者数維持を図り、プラス手厚い支援を行う為に常に求人を出している状況でしたが、年度を終える頃にはプラス 10 名の支援員配置が実現しました。入所では、2.5:1 から 1.7:1 の体制となり手厚い支援が可能となりました。

日中活動では「できること」「楽しむこと」を増やす努力や屋外活動での企画を図り、園芸活動で畑地を有効に利用し播種、育成、収穫そして「食す」といった楽しみとなる活動も行いました。又、創作活動においても各活動班で趣向を凝らした創作品や個性豊かな絵画等もあり、協会を通した作品展にも出展し、入選の栄誉も多く得られました。

地域生活を支えるグループホーム支援は組織的な支援体制も確立し、連休の余暇活動や個別の目的に応じた外出も計画し支援を行っています。又、看護師配置も実現し、通院をはじめ日々の健康管理においても適切な支援が行えております。

施設整備において防犯対策強化学業の分野（国庫補助助成）で、本体正面玄関の改修工事（自動ドアへ）を行いました。又、入所棟へのエアコン設置、厨房機器の更新他、来園者及び関係者の駐車スペースの確保といった理由により、裏地畑部分の砥石敷詰工事を行いました。

次年度以降も、充実した支援を行えるよう職員の支援技術や知識の向上に努め、利用者個々の輝きを尊重した支援にあたっていきたいと思います。

2. 利用者状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

		定員	現員	備 考
札 北 荘	施設入所支援	30	31	
	生活介護	40	45	
	日中一時支援			実員 33 名 延べ 728 名
	短期入所	10		実員 65 名 延べ 2,417 名
札北荘（通所）	生活介護	60	70	
	就労継続支援 B	10	10	
GHあじさい	共同生活援助	56	56	
GHすまいる	共同生活援助	10	10	

3. 行事や主な活動

6/4 すずらんピック（陸上競技、FD等）、9/3 収穫祭（園庭、台風の影響にて縮少）

11/4 法人TB大会（農試公園）、12/2 防火もちつき会（入所食堂）

12/2 クリスマス会（ガトーキングダム札幌）、1/7 新年会・成人式（ロイトン札幌）

一泊旅行では6～10月の中で、洞爺・ルスツ、登別、岩内、ニセコ、北湯沢、旭川、定山溪・小樽方面と7コースに分かれて実施。

日帰り旅行（札幌市内観光、岩見沢方面、恵庭方面の実施）

日中活動班での班レクリエーションの実施。

1/14 歩くスキー集いへの参加等

4. 健康・安全管理

健康診断の実施（6月）、インフルエンザワクチン接種（11月）

防災講話受講（6月 北消防署予防課）

避難訓練の実施（6月、10月は検証訓練として実施）、地震想定訓練の実施（10月）

5. 販売関係

新光夏祭り、新琴似西祭り、百合が原地区センター販売、新川西中祭への参加 等
法人施設祭典への参加及び販売

元気ショップ、萌木での常設販売。カフェはなうたでの販売。

6. 地域交流活動・ボランティア活動等

町内会関係との交流会及び敬老会への参加及び地域夏祭りへの協力、参加
北区介護予防センターへ、クリスマスプレゼント（陽だまり石鹸他）の用意等
ボランティア関係（各種施設行事のお手伝い 延べ16名のご協力）

保護者会関係（畑の草取りや環境整備等 延べ48名のご協力）

見学者（本体及び各GH）については、各特別支援学校及び近隣中学校（特支）の
保護者、社会福祉法人関係者、育成会全国大会が札幌で開催されたご縁で、徳島県
吉野川育成園の職員の見学もあり、多くの方々に見学していただきました。

7. 実習関係

教育実習（体験） 9校 延べ25名

現場実習（特支）5校 延べ11名の受入れ

職場体験実習（社会福祉施設体験、2校 中学2年生 延べ9名）

平成 29 年度 さつきたそう ゆめくる・ゆめきた 事業報告

1. 総括

平成 29 年度はゆめくる 46 名（定員 40 名）、ゆめきた 19 名（定員 20 名）、総計 65 名（定員 60 名）でのスタートとなりました。平成 29 年度は今までさつきたそうで積み重ねてきた様々な活動内容や支援方法を再確認し、更に活動内容の充実に努め支援の質の高上を図ることを考えながら進めてきました。具体的には権利擁護の再確認から始まり、虐待防止の認識を徹底、特に呼称等利用者の方との向き合い方については事業所全体で重ねて確認してきました。支援内容では、利用者個人の状況に応じた適切な支援を組めるよう、ケース会議や保護者の方との面談等を通じニーズの再確認も併せて行いました。活動内容については、委託作業、作品作り、運動（健康）活動を柱に進めてきましたが、更に内容を広げるため、夏季には農耕作業で野菜を栽培、収穫に至るまでの過程に取り組んでいただき、「食」の楽しみにつなげることもできました。新たな取り組みとして木工製作を開始、近隣の公園清掃も引き続き実施、地域活動も大切に、利用者の方が多様なプログラムの中でご自身の力を発揮していただけるよう進めています。余暇活動を充実させるため各種レク活動も引き続き実施、温泉入浴や公園散策、季節行事としてのお花見や調理、モノ作り等々の各種活動を進めてきました。今後も生活介護事業の本分を踏まえつつ、基本的な支援を含めながらこのような楽しみある活動も続けていきたいと思ひます。

施設設備については、ゆめくる 2 階の活動スペースにエアコンを設置、これでゆめきた含め全活動場所設置済みとなりました。また、ゆめくる・ゆめきた共に通信カラオケを導入、最新の曲が歌えるだけでなく、高齢者向けリハビリ体操等の健康プログラムも充実しており、利用者の皆様には大変喜ばれています。

職員の資質向上といった部分では、「支援の質を高める」具体的な取り組みとして、利用者状況の再確認と適切な支援提供のため、会議等で個別支援計画に基づく個々人の状況を職員全体で確認、支援の裏付けとなる学びを深めるための各種研修参加も積極的に取り組んできました。今後も障がいの重度化、重複化といった部分にも適切に対応するため、支援者個々の成長を図るための取り組みには特に力を入れていきたいと考えます。

保護者や地域、関係機関との連携といった部分では、独自の取り組みとして年 3 回の保護者茶話会を実施、情報の共有や保護者同士のコミュニケーションの場として開催しています。普段向き合って話す機会が少ない中では、職員にとっても貴重な時間であり、今後も継続したいと考えます。実習生やボランティアの受け入れも行ってきましたが、受け入れ人数としては少なく、ゆめくる・ゆめきた共に受け入れ人数を増やし、事業所の地域貢献や社会資源の一つとしての認識も踏まえながら運営していきたいと考えます。

今後も利用者の方が日々の活動の中で、「充実感」や「楽しみ」をもちながら利用していただけるよう、また同時に事業所として質の高い支援を提供できるように配慮していきたいと思ひます。

2. 利用者状況（平成 30 年 4 月 1 日現在）

定 員	現員（男性）	現員（女性）	計	合 計
ゆめくる（主たる事業所）	29 名	15 名	44 名	63 名
ゆめきた（従たる事業所）	9 名	10 名	19 名	

3. 行事や活動

- ・行事 6 月スズランピック、スポーツフェス 9 月収穫祭 11 月ティーボール大会
12 月クリスマス会 1 月成人式、新年会
- ・旅行 6 月洞爺・ルスツ・登別コース 7 月岩内・ニセココース 8 月北湯沢コース
9 月旭川・定山溪・小樽コース

4. 健康、安全管理

- ・健康診断の実施（6 月） ・避難訓練の実施（5 月、10 月） ・インフルエンザ予防接種（11 月）

5. 実習、ボランティア

- ・教育実習 計 3 校 11 名 ・現場実習 計 2 校 4 名 ・ボランティア 1 名
- ・見学 計 14 名（利用相談等含む 高等養護学校保護者・ご本人・教師等）

平成29年度 事業報告

つきがた友朋の丘、ワークサポートいぶ樹、グループホーム大樹

1、 総括

平成29年度の活動は、当初の事業計画に基づき下記の通り実施してまいりました。
＜つきがた友朋の丘～入所施設＞

つきがた友朋の丘においては、利用者の平均年齢が42,8歳、入所最高齢は65歳、若い方は20歳と年齢差も大きくなっています。加齢に伴い身体機能の低下や、医療受診の増加が顕著となっています。平成29年は入所利用者3名が病気によりお亡くなりになり、また様々な障害特性への対応が増し、個別の支援体制を整えながら対応してまいりました。利用者の高齢化に伴い、保護者もまた高齢となり、今まで以上に連絡、確認を慎重に行っており、交信記録として残しています。帰省などに伴う送迎についても希望が増加していることもあり随時対応しています。また、懇親会や交流会などを企画し、保護者との関係作りに取り組んできました。生活場面では身辺面（皮膚の衛生、清潔さなど）への支援に重点を置くことで皮膚科への受診が減少しています。食事においては栄養マネジメントを行い、体調を維持することや楽しみのある食事支援を重視し行ってきました。

余暇活動においては、集団での外出から小集団もしくは個別での活動を中心に行うことで、個々のペースや嗜好にえられるように提供してきました。

支援者のスキルアップとして研修会への参加を積極的に行っています。特に強度行動障害（基礎・実践）研修、サビ管研修などは今後も施設の配置上必要となるものであり継続して受講していきます。

＜ワークサポートいぶ樹～通所施設＞

通所独自の活動に加えて入所施設の外活動（花き栽培、野菜栽培、椎茸栽培）を共同で行うなど幅広く活動を展開してきました。平均年齢43,6歳と入所同様に加齢に伴い様々な疾病を抱えている方も多くみられ、その都度支援者、看護師の打ち合わせをし、医療相談などの対応をしています。日中活動においては地域活動（花壇の整備やゴミ拾いなど）へ積極的に参加をし、地域貢献の活動となっています。

ベーカリーにおいては、町のパン屋さんとして定着がされていますが、原料価格の高騰や町内にコンビニエンスストアが3軒あり、売り上げ、収益の低下がみられています。今後生産工程や販売品の見直しなどを含めて、より効率的な生産及び特色のあるパンの販売を行ってまいります。また、非常用の缶詰パンの製造を強化していきたいと考えております。

＜グループホーム大樹＞

地域生活を感じていただけるよう、つきがたタイム（月形町内での GH 余暇）などを企画、提供し、月形町内の施設などを利用することで、地域住民との交流などを深めています。また、個々の希望に応じた外出も取り入れてきています。健康状態の把握に力を入れて、その都度必要に応じて受診を行っています。

2. 利用者状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

◇つきがた友朋の丘	施設入所支援	定員 40 名	現員 42 名
	生活介護事業	定員 40 名	現員 46 名
	ショートステイ	定員 4 名	現員 0 名
◇ワークサポートいぶ樹	就労継続支援 B 型	定員 10 名	現員 11 名
	生活介護事業	定員 10 名	現員 12 名
◇グループホーム大樹		定員 22 名	現員 22 名

3. 主な行事及び活動

＜合同行事及び活動＞

地域交流行事「友朋祭」、保護者会との共催行事「交流会」、「一泊旅行」、「クリスマス・忘年会」は入所、通所合同での行事として行っています。

◇オーボエ&ピアノコンサート（5/22）

◇ 友朋祭（9/9） ◇交流会（6/11） ◇クリスマス・忘年会（12/25）

◇ 一泊旅行層雲峡（6/15～16、7/13～14、9/21～22）～同じコースを3回に分けて実施しています。

◇ 札幌会ティーボール大会（11/4）

＜つきがた友朋の丘＞

◇ 行事活動

- ・ 日帰り旅行（8/30） ・ セレクト外出（カラオケ、温泉、ランチ他）
- ・ 味覚クラブ（7/19、10/18、3/22） ・ もちつき会（12/6）
- ・ こむ木屋食会

※ その他、生活支援係、余暇支援係、自治会係などそれぞれ季節行事や誕生日リクエストメニューなど随時実施しています。

◇ 日中活動

- ・ 花畑～花き栽培（シクラメン、観葉植物など）、野菜栽培（ジャガイモ、カボチャ、ミニトマト、そばなど）
- ・ 椎茸～椎茸栽培、管理
- ・ はあと～室内活動にて英字新聞と使った作品作りなど
- ・ デイすずらん～リハビリ、軽運動、情操活動など

<いぶ樹>

◇ 行事活動

- ・ 月形町1000人パレード（6／30） ・ 空知のチカラ（8／6）
- ・ 日帰り旅行さくらんど（10／7）
- ・ 世代間交流会 しめ縄作り、そば打ちなど（12／10）
- ・ 慰労会（3／23）

◇ 日中活動

- ・ 生活介護～委託作業（箱折り、衛生センターゴミ分別作業、交流センター清掃など）
- ・ 就労B～パン製造販売

<GH大樹>

◇ 行事活動

◇ 世代間交流会（12／10月形町社会福祉協議会）

- ・ 利用者の希望等を踏まえて各ホームの余暇支援、通院支援、個別ニーズへの対応。

4. 販売活動など

<平成29年度日中活動売上総括>

入所	作業活動収入	593,505
	こむ木売り上げ収入	2,021,809
	計	2,615,314
通所	生活介護収入	810,518
	B型活動収入	11,113,478
	計	11,923,996
	合計	12,185,310

※ 入所の事業であるこむ木の活動は、季節限定の店舗運営として定着してきている。地域貢献につながる事業としても継続していきたい。

※ 通所においてはパンの原料高騰化のため、価格の見直しと、利用者さんの高齢化により作業工程の検討が必要となってくる。

※ 町内各施設や関係団体等のイベントにて販売の機会をいただいている。（藤の園園遊会、雪の聖母園祭、各施設保護者会にて販売）

5. 地域交流、地域貢献活動

◇ 町内会活動～地域交流ホームの開放（つきがた友朋の丘）、道路清掃及び花壇の植栽及び美化管理（ワークサポートいぶ樹）

◇町内各種イベント（樺戸神社祭り、月形交流会、月形夏祭り、ボランティアセンター祭、町民文化祭、新年交礼会等）への利用者参加及び職員スタッフの派遣

◇社会福祉協議会、商工会、消防団を始め、町内関係機関等への職員スタッフの派遣

6. 短期入所事業

○利用延べ件数 2件 ○利用延べ日数 231日

7. 実習生、ボランティアなど

◇実習・職場就業体験

○専門学校実習 3名 ○月形高校 2名 ○月形中 7名

◇ボランティア

○日赤奉仕団 ○月形町役場親和会

◇見学者 つきがた友朋の丘 2名、ワークサポートいぶ樹 2名

◇相談 つきがた友朋の丘件 1件

平成29年度 札幌市社会自立センター 事業報告

1. 総括

平成29年度事業は、札幌市公の施設に係る指定管理者の条例に基づき、当初の計画に沿い実施することが出来ました。今年度は指定管理者の選定の更新を行い、平成30年4月から平成35年3月までの5年間の指定を受けました。

設備の面においては、暖房用配管等の劣化による配管詰まりと漏れに対し、市当局による迅速な対応をして頂き、配管修理とパネルヒーターの詰まり修理により快適な冬を過ごすことが出来ています。

平成29年4月より、国の法改定でA型事業所の見直しが始まり、就労を前提としたA型事業所の在り方が問われ、当事業所に於いても課題改善に向けて見直しの一年となりました。

そこで、従来より行っていた遊技台の解体業務は、仕事量の激減により取り止めとし、高齢者施設（特別養護老人ホーム）「ひかりの」の清掃委託業務に於いても就労へのステップアップ事業としての見直しをした結果11月末にて契約解除としました。収入減を補うべく、4月より大量のタオル洗濯業務が追加となり、目標枚数クリアに向け1年間かけ創意工夫をしながら生産数増加への対応をしてきました。

支援目標である「質の高い就労支援の提供と安定した収入の確保」、「健康で豊かな生活を送るための地域支援活動」においては、利用者それぞれが持てる力を十分発揮し仕事にも生活にも意欲的に取り組めるよう、本人との面談や保護者との三者面談からニーズを把握し、それをしっかりと個別支援計画に反映させ相談支援事業所の職員、地域生活支援職員と連携を図り支援を行ってきました。

就労事業においては、事業内容の見直しで年間を通じて安定した受注量が確保され、少しずつですが前年度の収入を上回り、年度末には昨年度より10%プラスの期末手当を支給することができました。

生活支援に関しては、今後も自治会の主体的な活動を支援し、希望に沿った余暇の提供と社会人としてのマナーや金銭管理の在り方など、一人一人が自主的に考えていける機会を提供していきます。

次年度以降も利用者の主体性を尊重し、健康で生き生きと働ける職場環境の提供と就労支援、生活支援の充実に努めて行きたいと思えます。

2. 利用者状況（平成30年3月31日現在）

【現員 37名（男性25名・女性12名） 定員30名】

3. 実習生・介護体験・ボランティア・見学者数

	職場実習	職場体験	介護体験	環境ボランティア・他	見学者	相談受付件数
人 数	18名	2名	2名	72名	43名	3件

4. 行事・自治会活動

- ◎ 旅行 二泊旅行（ 京都方面） 9月 5日～ 7日 10名参加
 一泊旅行（二セコ方面） 7月18日～ 19日 5名参加
 一泊旅行（室蘭 方面） 8月 5日～ 6日 20名参加
 日帰り旅行（富良野方面） 7月29日 8名参加
- ◎ 自治会主催 定期総会 4月21日（自立センター） 参加総数31名
 ワクワクナイト夏 7月 7日（すすきのジンギスカン） 33名参加
 ワクワクナイト冬 12月15日（シャトレーゼガトキン） 38名
 ワクワクナイト(ボウリング・カラオケ・焼肉など) 30名

5. 地域交流

- ◎ 札幌小学校祭り 10月14日 運営協議会 2月27日

平成 29 年度 菊水ワークセンター 事業報告

1. 総括

平成 29 年度の事業は、当初計画に基づき進めてまいりました。生活介護事業（本体）、就労継続 B 型事業（ライラック、スズラン）、就労移行支援事業（スズラン）とも順調な活動を行うことができました。

利用者状況においては、1 名が長期入院とリハビリを経て他の施設へと移行することになりました。利用者の加齢化という状況を踏まえ、通所事業として今後の利用者の健康管理や支援体制についての検討課題を提起されたといえます。

生活介護事業では、利用者の実情を踏まえ従来の作業活動を中心とした活動から、作業活動外の運動活動や創作活動などを取り入れた日課へと徐々に転換し、内容の充実を図ってまいりました。

就労継続 B 型事業のライラックでは、施設外就労の取組みを行いましたが、残念ながら雇用までには至りませんでした。しかし、今後の取組みにつながる貴重な経験となりました。スズランにおいては施設外就労として公園清掃や図書館清掃等を安定的に取組みました。

就労移行事業においては、定員 6 名に対して 4 名の利用者でした。事業所としての実績を高め、魅力ある独自の支援プログラムを作り上げることで、定員割れが起こらない事業展開につなげていく必要があるといえます。

余暇支援においては通所事業所として、3 事業所合同開催を基本として実施してきましたが、生活介護事業と就労系事業での活動形態の違いから、新年度においては整理が必要な事業といえます。一泊旅行の実施においては、利用者の希望を反映した企画としてまいりましたが、通所事業所として無理のない企画が必要といえます。

地域支援においては、グループホーム南エリアとの連携協力の中で取組んでまいりましたが、職員間の情報交換も含めより密な連携体制を構築していく必要があるといえます。

保護者会活動の支援においては、保護者が高齢化している現状を踏まえ、従来の活動の限界が見えてきたことから、保護者会と協議して新年度から負担感のない体制と活動内容の変更を行ってまいります。

2. 利用者状況

事業所	種別	定員	現員	解除	契約	日中一時
菊水ワークセンター	生活介護	40	48	2	0	0
ライラック	就労 B 型	18	20	0	0	0
スズラン	就労 B 型	16	16	1	0	0
	就労移行	6	5	0	0	0

3. 主な活動や行事

<平成 29 年度の主な活動>

月	活動内容	月	活動内容
4 月	保護者会総会	10 月	ティボール大会
5 月	日帰り旅行		インフルエンザ予防接種
	健康診断	12 月	クリスマス会
6 月	すすらんピック		お疲れ様会
	一泊旅行	1 月	成人式・新年会
7 月	一泊旅行	2 月	合同研修会
9 月	一泊旅行		合同つばさ会
	育成会全国大会	3 月	ボウリング大会

4. 販売状況

菊水ワークセンターでは、各種イベントでの販売活動に力を入れています。“厚別フリーマーケット”、“菊水夏まつり”、“ぐるっぽマルシェ（札幌駅地下歩行空間）”等で実施しております。また、「いこーる」、「元気ショップ」、「国立がんセンター売店」、「はなうた」、「萌木」の協力を得た販売をもっていただいております。

5. 地域との交流

町内夏祭り（8/3 菊水夏まつり～のぎく公園）の会場設営等での協力を通して、地域に根差した活動を行っている。今後は、菊水ワークセンター増築計画で予定している地域活動への取組みを想定した地域の情報収集等を行い、地域に必要とされる活動のニーズを探ってまいります。

6. 実習生・ボランティア及び見学者等の受入

<平成 29 年度の実習生・ボランティア及び見学者等の受入>

事業所	職場実習		教育実習（専門、短大、大学）	ボランティア	見学者・来訪者
	中学生	高校生			
菊水ワークセンター	21	0	4	105	80
ライラック	1	3	1	0	13
スズラン	4	23	20	291	104
合 計	26	26	25	396	197

平成29年度 白石かがやき園 事業報告

1. 総括

平成29年度も当初の事業計画に基づき無事に終了することができました。

今年度も日中活動の充実と利用者の安定に重点を置き、各作業班を核に軽作業、余暇活動、運動活動を週単位・月単位での計画のもと、予定通りに進められました。アクシデント防止にはヒヤリ・ハットを活用し、その対策の成果も見られました。日中活動ではライフサイクルを踏まえた生活のリズム（メリハリのあつ活動）をポイントに家庭との連携を重視し、リフレッシュ活動では園行事でもあるCafé「みなくる」やアフターサークル等内容を検討しての提供で皆さんに楽しんでいただきました。

特にCafé「みなくる」では、園内に新鮮な風を吹き込める機会として学生ボランティアを依頼し延30名以上の人に来ていただいたことで、利用者の方々も楽しみに参加していました。就労支援B型「こもれび」では新しい作業種としてリースキン作業を導入、何度かクレームを受けましたが菊水ワークの協力を得て無事に終えることができましたが、より良い製品が納められるよう今後も前向きに取り組みたいと思います。この作業での増収により7月から作業工賃を500円UP、3月には生活介護・就労Bの皆さんに金額は違いますが特別手当を支給しました。施設整備ですが、大規模な改修は致しませんが部分改修として8月厨房内の空調整備、12月全トイレにシャワートイレを設置、2月食堂カウンター板の張り替え・職員室の床シートの張り替えを行っています。今後、予想される外壁や雪庇対策、2階和室の改修（洋室化）等、専門の方に調査をしていただき予算の検討をしながら順次計画を立て進めていきたいと考えます。

次年度も「働く」「楽しむ」「健康」の三本柱で充実した地域生活を支えていきたいと思ひます。

2. 利用者状況（平成30年3月31日現在）

- ・本体施設（生活介護） 定員数55名 現員数59名
- ・こもれび（就労継続B型） 定員数15名 現員数17名
- ・短期入所事業【定員3名】 年間利用延人数：792人
- ・施設外職業体験実習（こもれび利用者2名実施）：実習先：菊水ワークセンター・すすらん

3. 主な活動と行事

今年度も活動内容を見直しながら、利用者が楽しめる行事・余暇活動を実施しました。

【主な行事と活動内容】

※アフター（アフターサークル）

5月：定期健康診断/アフター1回4人/イッテ JOY（映画）16人 6月：すすらんピック（水泳/陸上/FD/BRに参加）/避難訓練 /イッテ JOY（木下サーカス）15人/アフター3回10人 7月：イッテ JOY（プール）24人/アフター3回10人 8月：かがやき祭/アフター2回6人 /プール1回2人 9月：嘱託医検診/アフター3回9人 10月：イッテ JOY（長沼）19人：インフルエンザ予防接種/アフター3回12人 11月：ライオンズクラブボーリング大会/Tボール大会・夜間避難訓練実施（短期棟）/アフター3回12人 12月：クリスマス会 /アフター2回7人 1月：成人式・新年会

上記の他、各活動班ごとに「日帰りリクリエーション」を企画、実施しております。

【その他の支援活動】

- ・送迎サービス延利用者～28,039名
- ・イブニングサービス（延長）～2件

4. 販売

- ・いこーる・元気ショップ・ぴあとぴあ祭、心のリカバリーセンター祭（近隣地域）
- 他、関係機関及び法人施設等のイベント販売

6. 実習生・ボランティアの受け入れ

- ・教育実習生 5校：15名
- ・ボランティア（Café、お祭り等）延48名

5. 地域との交流

- ・老人クラブへ集会室開放とかがやき祭への参加
- 柏町内会かがやき祭参加、白石東公園清掃（委託）
- ・近隣4施設合同職員研修会：今年度未実施

7. 見学・訪問

- ・延べ、30名

8. 相談 5件

平成 29 年度 ライフサポートあんりー 事業報告

1. 総括

当事業所は、札幌会が運営する事業所の利用者を対象に、余暇活動や健康活動支援を中心に、居宅介護事業全般を運営しています。この事業は、経営的に極めて不安定な事業ではありますが、利用者家族からの潜在的なニーズは多岐にわたっており、利用希望は毎年飛躍的に増大しています。ここ数年は、財政の健全化を進めつつ事業の拡大に取り組んできました。

近年、福祉職場は求人難が続いており、当法人の職員採用も苦戦しています。加えて採用基準に経験と資格を必要とする当事業所は、困難を極めています。苦戦をしながらも、ハローワークや有料求人サイト等も複数利用しながら、なんとか人員を確保してきました。しかし職員の定着が不安定な中で、次年度以降も同様の厳しい状況が続くと思われる、事業推進に向け深刻な課題となってきました。

今年度は、厚労省の通知に基づき、障害の重たい利用者への対応を適切に進めることを目的に、職員全員に行動援護従事者研修を受講させ、支援の強化を図りました。

事業が広がる中で、急なキャンセル件数も増加しており、直前での調整業務が大きな負担となってきています。キャンセル料や公用車の利用料等の無償化は維持しつつ、次年度に向け改善策を検討していかねばなりません。

また、例年は道路状況等で減らした冬期間のサービス提供件数も、近接地への変更やグループ支援等、調整や工夫により、極端にサービス件数を減らすことなく、サービスを提供できたことは成果とします。

2. 活動実績

	居宅介護	行動援護	移動支援	パーソナル	件数月計	収入月計
4 月	42	290	265	16	613	6,171,104
5 月	29	306	254	15	604	6,176,495
6 月	40	294	279	16	629	6,329,439
7 月	29	298	282	19	628	6,156,441
8 月	35	298	267	17	617	6,306,067
9 月	30	292	270	22	614	6,056,381
10 月	37	327	283	22	669	6,660,369
11 月	34	312	283	16	645	6,527,257
12 月	32	320	291	18	661	6,589,201
1 月	37	306	262	15	620	6,289,070
2 月	28	295	290	20	633	6,162,987
3 月	30	342	320	18	710	6,938,481
合 計	403	3,680	3,346	214	7,643	76,363,292

平成 29 年度 相談室あいりす 事業報告

1. 総括

当事業所は、主に札幌親会が運営する事業所の利用者を対象に、特定相談事業と一般相談事業を運営しています。実質的に3年前から始まった相談支援事業は、札幌市の経過措置に合わせながら段階的に拡大してきました。

今年度は[ライフサポートあんりー]から独立し、新しい事業所名[相談室あいりす]で再出発しました。新名称を覚えていただけるか心配しましたが、相談員を1名増やし家庭訪問・事業所訪問を活発に展開する中で、円滑に運営することができました。

各事業所と密接な連携を図り、468名(H29実利用者数)の基本情報をデータで整理・管理して、希望される利用者への実施を、ほぼ達成できたことは大きな成果とします。

家庭訪問を通して相談室の認知が広がり、基本相談の割合が増加しています。特に余暇活動・短期入所・等のサービス利用・親亡き後の生活・年金申請等の相談が増加し、少ない人員配置では対応に限界がありました。不便をかけたことは今後の課題とします。

7月から特定事業所加算を申請し、相談支援従事者研修[基礎研修]を終了し、相談支援専門員3名体制を作ることができました。24時間対応や、煩雑な業務の中での週1回のケース会議の定例化等、必要な体制を作ることができました。

また、札幌市自立支援協議会・白石区地域部会・白石区内相談交流会等の研修会や勉強会に積極的に参加し、スキルアップすることができました。

年度末は、平成30年度障害者総合支援法改正にかかわる情報収集と、想定される減算と加算への対応等、次年度の体制への準備を進めることとなりました。

2. 活動実績

	計画相談	モニタリング	件数月計	収入月計
4月	47	36	83	1,258,205
5月	25	23	48	725,620
6月	28	34	62	926,430
7月	22	41	63	1,109,945
8月	37	39	76	1,403,916
9月	24	65	89	1,549,121
10月	31	26	57	1,043,025
11月	30	29	59	1,062,883
12月	25	31	56	1,001,776
1月	37	33	70	1,283,580
2月	44	33	77	1,426,685
3月	35	53	88	1,569,358
合計	385	443	828	14,360,544

平成 29 年度 月形町認定こども園花の里こども園 事業報告

1. 総括

認定こども園がスタートして、2 年経過しました。定員 80 名のところ 4 月当初は、67 名と少ない人数ではありましたが、年度途中では定員に近い園児数になりました。中でも 0, 1, 2 歳児クラスのニーズが高く、乳児が多く入園してきました。全国的に保育士不足が取り上げられております。当園でも乳児が多いことにより保育士の新たな採用を考えておりましたが、なかなか応募がない状況で、待機児童を出してしまった時期もありました。しかし、保育士不足解消に向けて新たに導入された制度である「子育て支援員」を採用することにより、約 1 か月で待機児童を解消することができました。

また、1 号認定と 2, 3 号認定で保育時間が異なるため、お迎え時間も様々ではありますが、担任やその他の保育士が、子どもの様子などを保護者と綿密に話しあうことにより、問題が起きたときにもスムーズに解決することができたように感じます。毎日顔を合わせることで、家庭と園との連携を図ることにもつながりました。

衛生面では、園児の中で、腸管出血性大腸菌にかかるということがありました。保健所も入りましたが、厨房内、園内ともに指摘されるようなところはなく、感染が拡大することはありませんでした。今後も衛生面への配慮を確実に行っていきます。

障がい児保育では、発達に遅れがある園児が、統合保育を通して様々な刺激を受け、成長していけるよう配慮してきました。また、関係機関へつなげる際も、よく話し合い、子どものために何かを必要かを双方でよく理解したうえで、話を進めることができました。これからも、子育てをしている保護者に寄り添い、子どもを第一に考えた保育を行っていきたいと思います。

2. 利用者状況【延べ在籍 895 名】

定員 80 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数
在籍（1日付）	67	69	73	76	74	76	79	77	76	76	76	76	895
入園（その月の2日～翌月1日）	2	4	3		2	3		1	1	1			17
退園				2			2	2	1	1			8

○延長保育（2 号 3 号認定 55 名中）利用数：26 名 延べ 163 回

○預かり保育（1 号認定 21 名中）利用数：22 名 延べ 947 回

3. 主な活動や行事

《4 月》入園・進級式/サケの放流会《5 月》子どもの日/春の保育参観《6 月》3, 4, 5 歳児親子遠足《7 月》年長お泊り会/海あそび（4, 5 歳児）《8 月》花の里なつまつり《9 月》運動会/卒園児同窓会/2 歳児親子遠足《10 月》園外保育（3, 4, 5 歳児）/秋の保育参観《11 月》保育発表会/やきいも《12 月》もちつき/クリスマス会《1 月》新年のおあつまり/和太鼓フェスティバル《2 月》節分/花の里雪まつり《3 月》ひなまつり/卒園式

○おたのしみ会：毎月実施 ○避難訓練：毎月実施 ○クラス懇談会：年 2 回

4. 地域との交流 ・サケの飼育、放流・交通安全パレード・公共交通機関利用体験・ふれあい大学（高齢者）運動会、学園祭参加・合同芸術鑑賞・愛光園夏祭り、友朋祭、新そばまつり、町民文化祭、月形町役場見学、給食試食会、幼年消防クラブ-月形緑苑訪問、

5. 保育実習・体験実習・就労体験・ボランティア

〈実習、就業体験〉月形学園就労体験・月形高校就業体験・月形中学校保育園訪問・保育実習

〈ボランティア〉・なつまつり（中学生、高校生、専門短大生）/運動会（高校生、専門短大生）

6. 職員研修

園内 「発達障害の理解と対応」（札幌養護学校校長 藤根 収氏）/「感染症対策について」（保健委員会）

園外 道社協・日本保育協会・こどものとも社保育セミナー・全国認定こども園協会・チャイルドサマーセミナー

7. 見学、訪問 延べ 164 名

平成 29 年度 子育て支援センター「みどりのたね」 事業報告

1. 総括

今年度も子育て支援センター事業を無事終了いたしました。子育て支援センターの開放では、残念ながら利用者の数が前年度から比べると減少しており、地域の方の利用が少なくなっています。今年度から2歳未満を対象にした「こぐまちゃん『あそびの広場』」も始め、たくさん子どもたちと会う機会が設けられたので、引き続き、気軽に来られる雰囲気や楽しく遊べる環境づくりを行っていき、IP 告知などを活用し宣伝していきたいと思います。今後もしっかりとねらいを持った活動を提供していきます。

2. しろくまちゃん『あそびの広場』（満2歳以上対象）

月	日	内容	参加親子	月	日	内容	参加親子
4	12	こども園探検	4組	10	11	おしゃべりカフェ	3組
	26	マシュマロスライム	5組		18	ハロウィンパーティー	4組
5	10	とうもろこしの種まき	4組	11	15	ポップコーンづくり	3組
	24	染物あそび	5組		29	楽器作り、音楽あそび	中止
6	7	おしゃべりカフェ	4組	12	6	クリスマス飾り制作	4組
	21	園周辺お散歩	4組		13	クッキーづくり	6組
					16	クリスマス会（合同）	8組
7	5	フィンガーペインティング	5組	1	17	お正月あそび	7組
	26	プールあそび	5組		24	おしゃべりカフェ	5組
8	5	なつまつり	3組	2	2	節分のおあつまり（合同）	6組
	23	泥あそび	4組		9	ゆきまつり（合同）	4組
9	16	運動会（合同）	4組	3	7	雪あそび	4組
	27	秋の制作（やきいも）	1組		15	お別れパーティー	4組

計 25 回 延べ 113 組

3. こぐまちゃん『あそびの広場』（0, 1歳対象）

月	日	内容	参加親子	月	日	内容	参加親子
11	1	ふれあいあそび	3組	3	22	わらべうた	0組
1	31	わらべうた	2組				

計 3 回 延べ 5 組

4. お母さんのおしゃべりカフェ

6月 8日 『サイコロトーク』 4名

10月11日 『陶芸体験』 3名

1月24日 『ストレスチェックテストを用いてのお話』 5名

5. 子育て相談 相談件数 13件（子どもの発達・生活習慣など）

6. 子育て講演会 参加者 10名

日 時 平成30年2月21日（水） 10:00~11:30

場 所 多目的研修センター

講 師 アロマスタジオジュエル 代表 橋本 理恵 氏

テーマ 『お母さんのためのおたのしみ会 アロマハンドマッサージ体験』

7. 絵本の貸し出し 20冊

8. 支援センターの利用 64組 延べ143名利用

平成 29 年度 月形町認定こども園花の里こども園

一時的保育事業報告

1. 総括

今年度は、母親の就労や通院等が主な理由で受けておりました。町外の幼稚園に入っている子が、土曜日や夏休みなど幼稚園がお休みの時に定期的に利用しておりました。

通常入園する前に子どもが園になじめるかどうかを確認したい親御さんも多く、入園前に一時保育を利用するケースも多くみられました。

2. 利用数

半日利用…延べ 14 名

全日利用…延べ 113 名

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
町内	半日	1	3	2	2	2		1	2			1		14
	全日	6	8	1		3	14	3	2	1	2			40
町外	半日													0
	全日	11		18	4	8	8	2	3	4	2	3	10	73

3. 保育内容

一時保育担当保育士がつき、同年齢のクラスにて、他児と一緒に通常保育を行っています。

4. 保護者との連携

オリエンテーションを密に行い、環境が違って少しでも安心できるよう話を進めてきました。

お迎えの際には、連絡票を使用し、児のあそびの様子や給食、排泄など生活面の様子等を伝えてきました。